

TEKLYNX®

CODESOFT®

フォームデザイナー

ユーザーガイド

DOC-FD-UG-JA-01/09/10

本マニュアルの情報は法的拘束力がなく、事前の予告なしに修正される可能性があります。

本マニュアルに記載されるソフトウェアの提供は、ユーザー・ライセンスにより異なります。

このソフトウェアは、このライセンスに従って行われる場合を除き、いかなる媒体においても、使用、複写または複製することはできません。

本マニュアルのいかなる部分も、**Braton Groupe sarl**から書面での許可を受けずに、購入者の個人的な使用以外の目的で、いかなる手段においても、複写、複製または送信することはできません。

©2010 **Braton Groupe sarl**,

All rights reserved.

目次

| | |
|----------------------------|----------|
| 概要 | 1 |
| 概要..... | 1 |
| レイアウト..... | 1 |
| メニューバー..... | 2 |
| ツールバー..... | 2 |
| ツールボックス..... | 2 |
| プロパティグリッド..... | 3 |
| メインウィンドウ..... | 4 |
| ステータスバー..... | 4 |
| 基本..... | 5 |
| アクションとは？..... | 5 |
| フォームの作成 | 9 |
| デザイン..... | 9 |
| 例1..... | 9 |
| DBF.xmf..... | 9 |
| コントロールの配置..... | 10 |
| コントロールプロパティの設定(データなし)..... | 10 |
| コントロールプロパティの設定(データあり)..... | 12 |
| データベースグリッドのプロパティ設定..... | 12 |
| フォームのプロパティ設定..... | 13 |
| テキストボックスのプロパティ設定..... | 14 |
| コンボボックスのプロパティ設定..... | 14 |
| ボタンのプロパティ設定..... | 14 |
| 例2..... | 17 |
| Generic.xmf..... | 17 |
| コントロールの配置..... | 17 |
| コントロールプロパティの設定(データなし)..... | 18 |
| コントロールプロパティの設定(データあり)..... | 20 |
| ボタンのプロパティ設定..... | 20 |
| フォームのプロパティ設定..... | 22 |

| | |
|-----------------------|----|
| リストボックスのプロパティ設定..... | 23 |
| コンボボックスのプロパティ設定..... | 24 |
| テキストボックスのプロパティ設定..... | 24 |
| データグリッドのプロパティ設定..... | 24 |

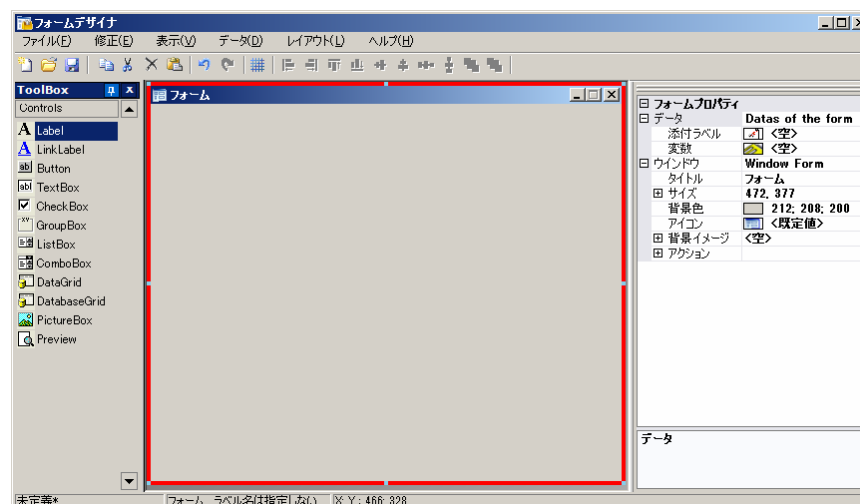
概要

フォームデザイナーは、データエントリーとラベル印刷アプリケーションのフロントエンドを素早く設計するビジュアルデザインツールです。フォームデザイナーは下記の特長があります。

- ラベルとプリンタータイプの選択
- 印刷プレビュー
- ページとプリンター設定
- データベース接続
- マルチスクリーン／フォームアプリケーション
- 事前定義値とデータコントロール

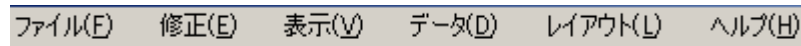
レイアウト

フォームデザイナーは、使いやすく、操作習得のための時間を大幅に減少させます。フォームデザイナーはメニューバー、ツールバー、ツールボックス、プロパティグリッド、メインウィンドウおよびステータスバーから構成されます。



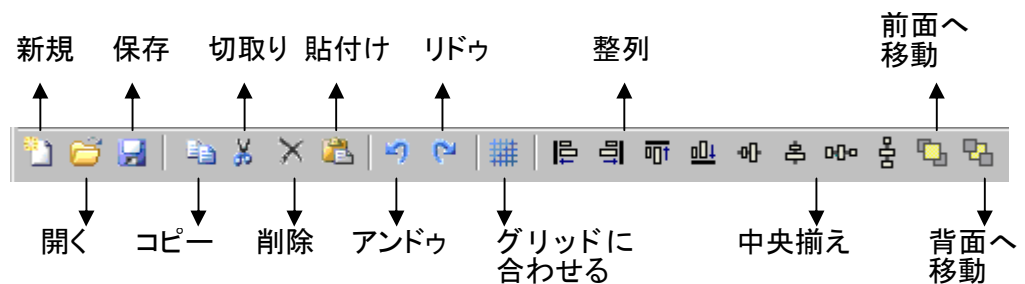
メニューバー

メニューバーはファイル、修正、表示、データ、レイアウト、およびヘルプの 6 つの項目から構成されています。項目をクリックするといろいろな機能を実行するための新しい項目のリストが展開されます。素早くメニュー項目にアクセスするには、メニュー項目に表示されているアンダーラインの文字と ALT キーを押下します。例えばファイルメニューの場合は、ALT+F キーを押下します。



ツールバー

通常、ツールバーはメニューバーの下に位置します。よく使用される機能をまとめたアイコンから構成されています。これらのアイコンをクリックしてフォームデザイナーの機能に素早くアクセスすることができます。



ツールボックス

ツールボックスは、フォームに追加することができるラベル、リンクラベル、ボタン、テキストボックス、チェックボックス、グループボックス、リストボックス、コンボボックス、データグリッド、データベースグリッド、ピクチャーボックス、プレビューの 12 のコントロールから構成されています。



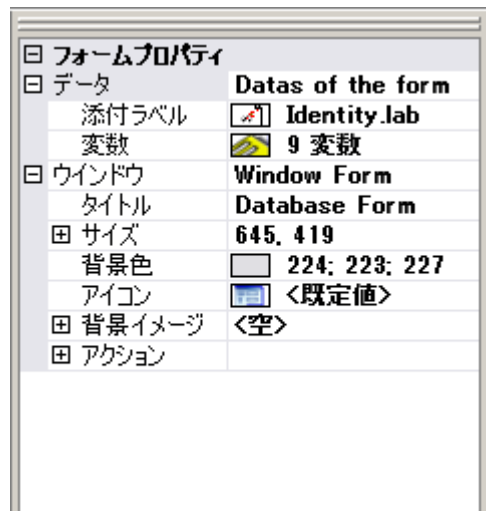
それぞれのコントロールにはそれぞれの用途があります。それらは固定または可変のデータにリンクすることができ、アクションと結びつけることができます。

フォームにコントロールを挿入するには、コントロールをクリックし、フォーム上にドラッグ & ドロップします。

| コントロール | 説明 |
|------------|---|
| ラベル | 入力フィールドの名前を示すために使用される非アクティブなテキスト |
| リンクラベル | ウェブページや他の特別な場所へのリンクとして使用されるテキスト |
| ボタン | 機能/アクションを実行するために使用されるコントロール |
| テキストボックス | データ入力フィールド |
| チェックボックス | 機能の選択/非選択、有効/無効の切り替えを行う |
| グループボックス | コントロールのグループの周りに視覚的な境界を作成するための非アクティブなボックス |
| リストボックス | プロパティとして定義されているデータをリスト表示する |
| コンボボックス | プロパティとして定義されているデータをドロップダウンリスト表示する |
| データグリッド | 変数名、値またはカスタマイズしたデータのような事前に定義されたデータをグリッド表示する |
| データベースグリッド | フィルタや検索フィールドのようないくつかの基本的な機能と共にデータベースを表示する |
| ピクチャーボックス | イメージをインポートすることができるボックス |
| プレビュー | フォームに接続されたラベルのプレビューを表示するボックス |

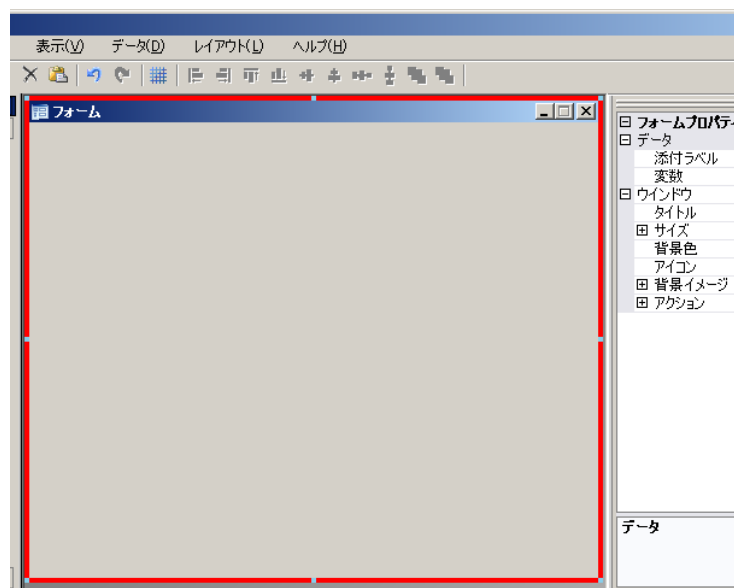
プロパティグリッド

プロパティグリッドは、選択されたコントロールのすべてのプロパティをグリッド表示します。ここでは、コントロール名、色、大きさ、アクションのようなコントロールの属性を変更することができます。それは状況依存ですので、選択しているコントロールによってプロパティのリストは異なります。



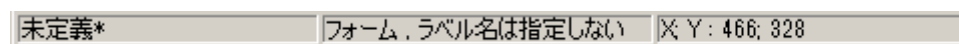
メインウインドウ

メインウインドウは中央に表示されるワークエリアです。ここでコントロールを追加し、ラベル印刷のためのデータ入力フォームを作成します。フォームを作成すると、表示>実行メニューによりフォームを実行し、最終結果をみることができます。



ステータスバー

ステータスバーはポインターのX座標、Y座標、フォーム名、選択されているコントロールの基本情報を表示します。



基本

アクションとは？

アクションはボタンに割り当てられる機能であり、フォームをロード／アンロードします。フォームデザイナーには、作成における時間短縮とプログラミングの必要性を排除するために、予め定義された 12 のアクションが含まれています。この中で特定のパラメータが必要なところがありますが、これらも同様に予め定義されています。

| Action | Show the document property dialog box |
|--------|--|
| | 作成日付や場所のような選択されたドキュメントのプロパティダイアログボックスを表示します。 |

| Action | Show the form dialog box |
|--------|---------------------------------------|
| | フォーム変数へ値をセットするためのフォームダイアログボックスを表示します。 |

| Action | Show the options dialog box |
|--------|---|
| | 表示言語やその他の設定を変更することができるオプションダイアログボックスを表示します。 |

| Action | Show the printing dialog box |
|--------|--|
| | 印刷を実行する印刷ダイアログボックスを表示します。ここでラベルの印刷枚数をセットしたり、印刷ジョブのプレビューを見ることができます。 |

| Action | Show the printer selection dialog box |
|--------|---------------------------------------|
| | 印刷可能なプリンターリストを表示します。 |

| Action | Show the printer settings dialog box |
|--------|--------------------------------------|
| | プリンターの設定を変更することができるダイアログボックスを表示します。 |

| Action | Show the page setup dialog box |
|--------|---|
| | ラベルサイズ、ページサイズ、マージンを設定する書式設定ダイアログボックスを表示します。 |

| | |
|---------------|---|
| Action | Print |
| | 印刷を実行します。 |
| パラメータ | Label Quantity |
| | 印刷するラベル枚数をプリンターに送ります。ドキュメントにカウンターが含まれる場合、カウンターはラベル枚数に従って増減されます。 |
| | Label Copy |
| | 同一ラベルのコピー枚数をプリンターに送ります。 |
| | Inter Cut |
| | それぞれのカット前に印刷するラベル枚数をプリンターに送ります。 |
| | Page Copy |
| | ページコピー枚数をプリンターに送ります。 |

| | |
|---------------|---|
| Action | Select printer |
| | ドキュメントに関連付けされているかもしれないどのプリンターよりも優先して印刷に使用するデフォルトプリンターを選択します。 |
| パラメータ | Printer |
| | ボタンがクリックされた時にデフォルトプリンターとして使用されるプリンターをセットします。フォームプロパティにプリンター選択変数が定義され、使用されている場合は、リストから選択したプリンターを使用します。 |

| | |
|---------------|-----------------------------------|
| Action | Show Designer |
| | ラベルを編集するためにラベルデザインアプリケーションを起動します。 |
| パラメータ | Show |
| | 起動し、ラベルデザインアプリケーションを表示します。 |

| | |
|---------------|---|
| Action | Load a new form |
| | 新しいフォームを開きます。 |
| パラメータ | FileName |
| | アクションをリンクさせる XMF ファイル名 |
| | New Window |
| | TRUE にセットされた場合、選択されたファイルを新しいウィンドウで開きます。 |
| | CopyVariablesValues |

| | |
|--|--|
| | |
|--|--|

| Action | Execute a VB Script |
|--------|---|
| | フォームデザイナーの能力を超えた動作を実行することができるユーザー定義の VB スクリプトを実行します。ユーザーにとって非常に柔軟な機能です。 |
| パラメータ | <i>FileName</i> |
| | アクションにリンクさせる VBS ファイル名 |
| | <i>Synchronous</i> |
| | VB スクリプトをフォームデザイナーに同期させます。 |

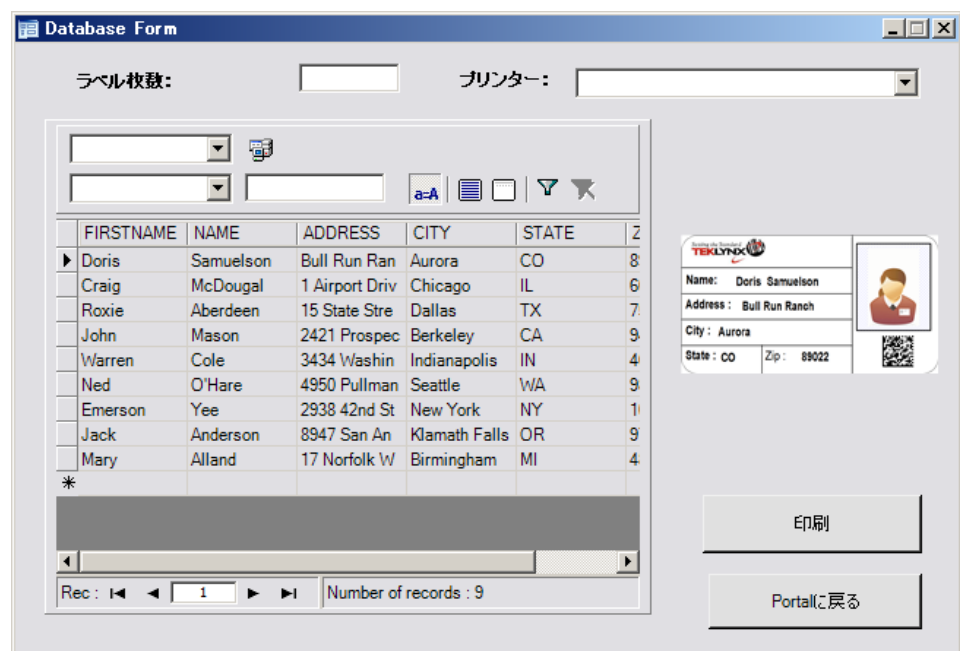
フォームの作成

デザイン

フォームデザイナーを使用すればフォームの作成は簡単です。すべてのコントロールはドラッグ & ドロップによりフォームへ追加することができ、それからプロパティグリッドにより色、テキスト、アクション等を設定します。

この章では、DBF.xmf フォームと Generic.xmf フォームの 2 つの例を用いてフォームの作成方法を解説します。

例 1



DBF.xmf

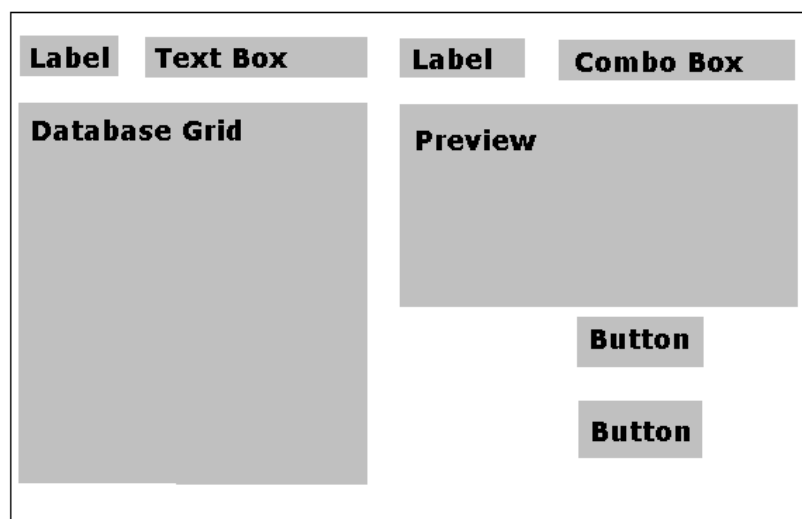
このシンプルなフォームは、データベース内のデータを素早く表示、変更または追加することができるデータベースグリッドを含んでいます。

コントロールの配置

この例では、以下のコントロールをドラッグ & ドロップする必要があります。

- ラベル 2 箇所
- テキストボックス 1 箇所
- コンボボックス 1 箇所
- データベースグリッド 1 箇所
- プレビュー 1 箇所
- ボタン 2 箇所

次の図のように配置します。



コントロールプロパティの設定(データなし)

プロパティグリッドがスクリーン右側に表示されますので、コントロールのプロパティの設定は簡単です。プロパティグリッドが表示されない場合は、表示 > プロパティグリッド メニューを選択します。

フォーム上でコントロールを選択すると、関連したプロパティのリストがプロパティグリッドに表示されます。

1. 次のようにラベルプロパティを設定します：

- 名前 : lblLabelNumber
- 内容 > タイプ : 固定オブジェクト
- 内容 > 値 : ラベル枚数 :

- フォント名: MS P ゴシック
 - フォントサイズ: 9
 - フォント強調: True
- 名前: lblPrinter
 - 内容 > タイプ: 固定オブジェクト
 - 内容 > 値: プリンター:
 - フォント名: MS P ゴシック
 - フォントサイズ: 9
 - フォント強調: False

2. 次のようにプレビュープロパティを設定します:

- 名前: prvPreview
- 内容 > タイプ: 固定オブジェクト
- 内容 > 値: Preview

3. 次のようにデータベースグリッドプロパティを設定します:

- 名前: dbgDatabase
- 内容 > タイプ: 固定オブジェクト
- 内容 > 値: DataBaseGrid

4. 次のようにテキストボックスプロパティを設定します:

- 名前: txbQty

メモ

インプットマスク

インプットマスクはフォームへの手動入力の制御方法です。キーボードで入力されたそれぞれの文字は、フォーマット文字列内の 1 文字に該当すべきです。

| フォーマット文字 | 入力文字 |
|----------|--------------|
| # | 数値(0-9) |
| @ | 英字(a-z, A-Z) |
| ! | 句読点 |
| * | 印刷可能な文字 |
| ¥ | ‘¥’に続く文字 |

5. 次のようにコンボボックスプロパティを設定します：

- 名前： **cbxPrinter**

6. 次のようにボタンプロパティを設定します：

- 名前： **btnPrint**
- 内容 > タイプ： **固定オブジェクト**
- 内容 > 値： **印刷**

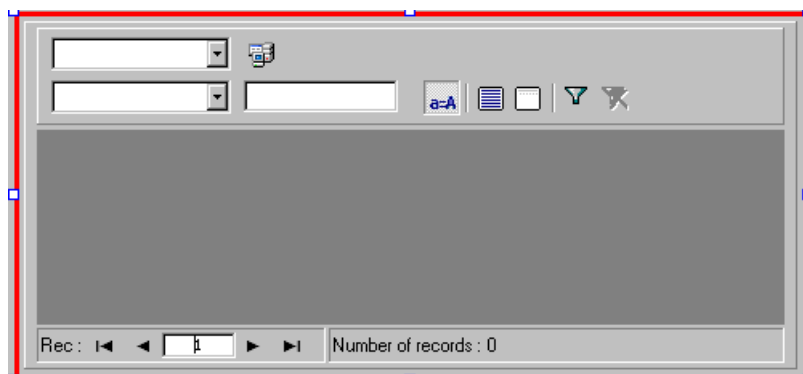
2 番目のボタンは

- 名前： **btnPortal**
- 内容 > タイプ： **固定オブジェクト**
- 内容 > 値： **Portal に戻る**

コントロールプロパティの設定(データあり)

いくつかのコントロールはさらに多くのテキストプロパティ設定を要求します。ボタンはアクションを、グリッドはデータを、そしてボックスは変数を必要とします。次の数ステップでこれらのコントロールのプロパティを設定します。

データベースグリッドのプロパティ設定



データベースグリッドは事前に選択されたデータベースを表示します。選択された行がプレビューボックスで関連付けられたラベルを表示します。データベースグリッドでは追加、削除、フィルタおよび情報の検索を行うことができます。

- データベース > 接続：ドロップダウンメニューから **Batcher** を選択
- データベース > テーブル：ドロップダウンメニューから **PrintJob** を

選択

メモ

データベース > 接続では、リンクされたデータベースのリストから選択、または新しいデータベースを追加することができます。後者は‘データベース接続の追加’ウィザードを起動します。

フォームのプロパティ設定

フォームはツールボックスには表示されませんが、他と同様に設定可能なコントロールです。

- 添付ラベル: **Identity.lab**
- 変数: **7 個の変数** が自動的にこのフィールドに追加されます。7 個の変数はラベルに付加されているデータベースから受け取られるラベル変数です。これに印刷に使用するデフォルトプリンターと実際に印刷する枚数を設定するための 2 個のフォーム変数を追加します。

これらの 2 個の新しい変数を追加します。

1. **変数**フィールドから下矢印をクリックします。
2. フォーム変数と題されたセクション内で**追加**をクリックします。
3. **Printer**を入力し、OK をクリックします。
4. 同様にステップ2と3を繰り返して **QTY**を作成します。

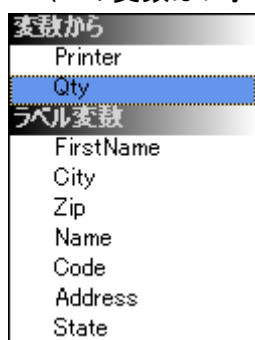
フォームプロパティグリッドに戻ると、変数が 9 個になっていることを確認できます。

| フォームプロパティ | |
|-----------|-------------------|
| データ | Datas of the form |
| 添付ラベル | Identity.lab |
| 変数 | 9 変数 |
| ウインドウ | Window Form |
| タイトル | Database Form |
| サイズ | 645, 419 |
| 背景色 | 224; 223; 227 |
| アイコン | <既定値> |
| 背景イメージ | <空> |
| アクション | |

テキストボックスのプロパティ設定

テキストボックスは、何枚のラベルコピーを印刷するのかをプリンターに告げるために使用されます。ユーザーによって入力された数量はコピー数として定義されます。もし、ラベル上にカウンターが存在するならば、カウンターはそれぞれのラベルコピーで増減します。

- 内容 > タイプ: **可変オブジェクト**
- 内容 > 値: ドロップダウンリストから **QTY** を選択
(この変数はフォームプロパティで作成されました)



コンボボックスのプロパティ設定



コンボボックスは事前に定義されたリストからプリンターを選択するために使用されます。プロパティを設定するには:

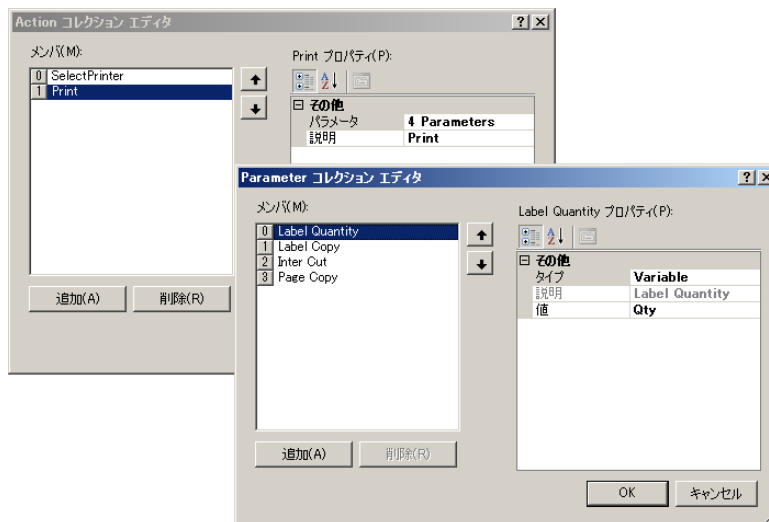
- 内容 > タイプ: **可変オブジェクト**
- 内容 > 値: ドロップダウンリストから **Printer** を選択
(この変数はフォームプロパティで作成されました)
- データ > タイプ: **プリンター**
- データ > 値 > プリンターの種類: **THT**

ボタンのプロパティ設定

ボタンは単に名前やフォントのような標準的なテキストプロパティを要求するだけではなく、アクションも必要とします。フォームデザイナーはボタンプロパティグリッドにおいてアクションの一般的なリストから選択することが可能なアクションフィールドを含んでいます。これらのアクションは、利便性、複雑なプログラミングの必要性の排除、そしてエラーの可能性の低減を目的とし

て予め定義、作成されています。


1. 印刷ボタンをクリックします。(btnPrint)
2. アクション欄の  ボタンをクリックします。ダイアログボックスが表示されます。
3. 追加ボタンをクリックします。
4. 説明欄の下矢印をクリックし、**Select Printer** を選択します。続いて 1 個のパラメータを定義します。
5. パラメータ欄の  ボタンをクリックします。ダイアログボックスが表示されます。
6. タイプに **Variable** を設定します。
7. 値に **Printer** を設定します。(ドロップダウンリストから選択します。Printer はフォームプロパティで作成された変数です。)
8. 元のアクション画面に戻り、追加ボタンをクリックします。
9. 説明欄の下矢印をクリックし、**Print** を選択します。続いて 4 個のパラメータを定義します。
 - **Label Quantity**: タイプに **Variable**、値に **Qty** を設定します。(ドロップダウンリストから選択します。Qty はフォームプロパティで作成された変数です。)
 - **Label Copy**: デフォルト設定のままとします。
 - **Inter Cut**: デフォルト設定のままとします。
 - **Page Copy**: デフォルト設定のままとします。



10. **OK** ボタンをクリックします。

印刷ボタンは、ユーザーによって txtQty に定義されたラベル枚数を印刷するように設定されました。(カウンターが存在するなら)ラベルのカウンターはそれ相応に増加します。

11. **Portal** に戻るボタンをクリックします。(btnPortal)

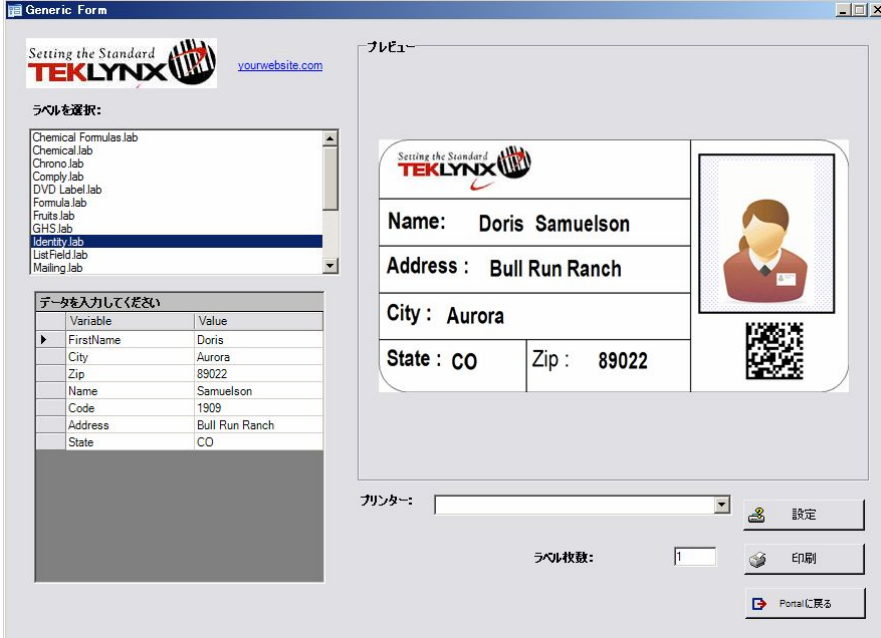
12. **アクション欄**の  ボタンをクリックします。ダイアログボックスが表示されます。

13. **説明欄**の下矢印をクリックし、**Load a new form** をドロップダウンリストから選択します。続いて 2 個のパラメータを定義します。

- **File Name**: タイプに **Fixed**、値に **MainMenu.xmf** を設定します。
- **New Window**: タイプは **Fixed**、値は空欄にします。

Portal に戻るボタンは、プリンターの選択、設定の変更、プリンター管理、ページ設定変更および他のフォームのナビゲートを行う MainMenu.xmf を開くように設定されました。

例 2



| Variable | Value |
|-----------|----------------|
| FirstName | Doris |
| City | Aurora |
| Zip | 89022 |
| Name | Samuelson |
| Code | 1909 |
| Address | Bull Run Ranch |
| State | CO |

Generic.xmlf

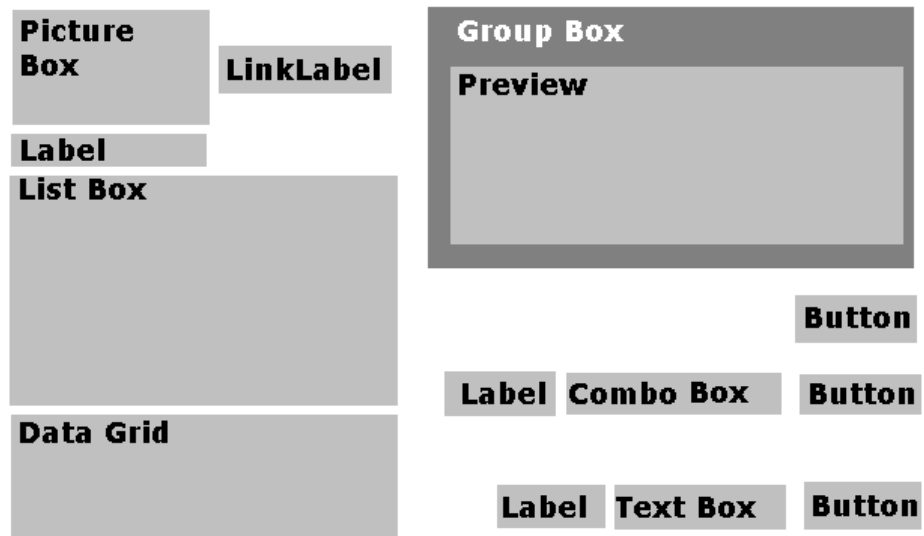
このフォームでは、フォームデザイナーのさらなる優れた機能を見ることができます。(リストからのラベル選択、データ変数の表示、ラベルのプレビュー、ラベルコピー枚数の選択、使用プリンターの選択)

コントロールの配置

この例では、以下のコントロールをドラッグ & ドロップする必要があります。

- ラベル 3 箇所
- リンクラベル 1 箇所
- ピクチャーボックス 1 箇所
- ボタン 3 箇所
- テキストボックス 1 箇所
- リストボックス 1 箇所
- コンボボックス 1 箇所
- グループボックス 1 箇所
- プレビュー 1 箇所
- データグリッド 1 箇所

次の図のように配置します。



コントロールプロパティの設定(データなし)

フォーム上でコントロールを選択すると、関連したプロパティのリストがプロパティグリッドに表示されます。

1. 次のようにラベルプロパティを設定します：

- 名前： `lblSelect`
 - 内容 > タイプ： 固定オブジェクト
 - 内容 > 値： ラベルを選択：
 - フォント名： MS P ゴシック
 - フォントサイズ： 9
 - フォント強調： `True`
-
- 名前： `lblPrinter`
 - 内容 > タイプ： 固定オブジェクト
 - 内容 > 値： プリンター：
 - フォント名： MS P ゴシック
 - フォントサイズ： 9
 - フォント強調： `True`
-
- 名前： `lblQty`
 - 内容 > タイプ： 固定オブジェクト
 - 内容 > 値： ラベル枚数：

- フォント名: MS P ゴシック
- フォントサイズ: 9
- フォント強調: True

2. 次のようにピクチャーボックスプロパティを設定します:

- 名前: picRandD
- イメージファイル名: RandD.jpg (下矢印をクリックしてダイアログボックスを表示し、ソフトウェアフォルダ内のアイコンフォルダからファイルを選択します)
- 位置合わせ: TopCenter
- 枠サイズに変形: OriginSize

3. 次のようにリンクラベルプロパティを設定します:

- 名前: llblyourwebsite
- 内容 > タイプ: 固定オブジェクト
- 内容 > 値: yourwebsite.com
- フォント名: MS P ゴシック
- フォントサイズ: 9
- フォント強調: False
- URL ナビゲート: <http://www.yourwebsite.com>

4. 次のようにグループボックスプロパティを設定します:

- 名前: gbxPreview
- 内容 > タイプ: 固定オブジェクト
- 内容 > 値: プレビュー


5. 次のようにボタンプロパティを設定します:

- 名前: btnSetting
 - 内容 > タイプ: 固定オブジェクト
 - 内容 > 値: 設定
 - イメージファイル名: pagesetup.bmp
-
- 名前: btnPrint
 - 内容 > タイプ: 固定オブジェクト
 - 内容 > 値: 印刷

- 名前: btnPortal
 - 内容 > タイプ: 固定オブジェクト
 - 内容 > 値: Portal に戻る
6. 次のようにプレビュープロパティを設定します:
- 名前: prvLabel
7. 次のようにリストボックスプロパティを設定します:
- 名前: lbxLabels
8. 次のようにテキストボックスプロパティを設定します:
- 名前: tbxQty
9. 次のようにコンボボックスプロパティを設定します:
- 名前: cbxPrinters
10. 次のようにデータグリッドプロパティを設定します:
- 名前: dgdVariables

コントロールプロパティの設定(データあり)

ボタンのプロパティ設定

1. **設定** ボタンをクリックします。(btnSettings)
2. **アクション** 欄の  ボタンをクリックします。ダイアログボックスが表示されます。
3. **追加** ボタンをクリックします。
4. **説明** 欄の下矢印をクリックし、**Show the printer selection dialog box** をドロップダウンリストから選択します。
5. **OK** ボタンをクリックします。

設定ボタンは、印刷に使用するプリンターを選択するダイアログボックスを

開くように設定されました。(コンボボックスのプロパティ設定を参照)

1. **印刷ボタン**をクリックします。(btnPrint)
2. **アクション欄**の **...** ボタンをクリックします。ダイアログボックスが表示されます。
3. **追加ボタン**をクリックします。
4. **説明欄**の下矢印をクリックし、**Print** をドロップダウンリストから選択します。続いて 4 個のパラメータを定義します。
5. **パラメータ欄**の **...** ボタンをクリックします。
 - **Label Quantity**: デフォルト設定のままとします。
 - **Label Copy**: デフォルト設定のままとします。
 - **Inter Cut**: デフォルト設定のままとします。
 - **Page Copy**: デフォルト設定のままとします。
6. **OK** ボタンをクリックします。

印刷ボタンは、選択されたラベルを印刷するように設定されました。

1. **Portal** に戻るボタンをクリックします。(btnPortal)
2. **アクション欄**の **...** ボタンをクリックします。ダイアログボックスが表示されます。
3. **説明欄**の下矢印をクリックし、**Load a new form** をドロップダウンリストから選択します。続いて 2 個のパラメータを定義します。
 - **File Name**: タイプに **Fixed**、値に **MainMenu.xmf** を設定します。
 - **New Window**: タイプに **Fixed**、値に **True** を設定します。
4. **OK** ボタンをクリックします。

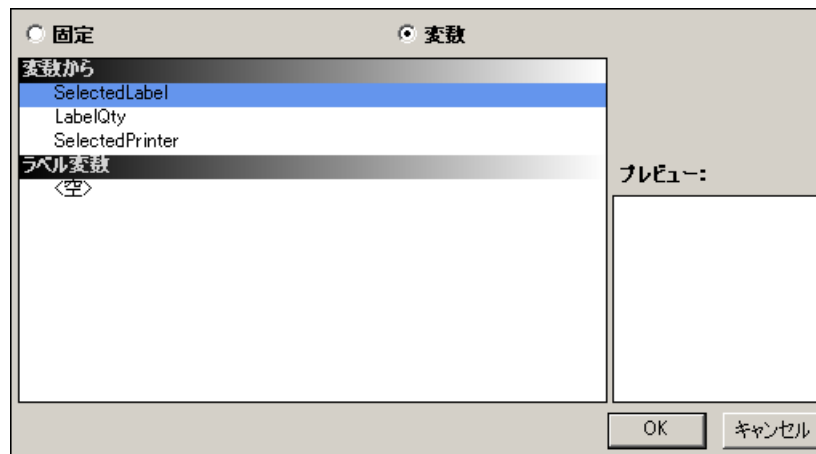
Portal に戻るボタンは、プリンターの選択、設定の変更、プリンター管理、ページ設定変更および他のフォームのナビゲートを行う MainMenu.xmf を開く

ように設定されました。

フォームのプロパティ設定

この例を実現するためには、ラベルのリストを表示するリストボックスが必要であることに気付くと思います。固定の添付ラベルがありませんのでラベル選択のための変数が必要となります。

このフォームではさらに2つの変数が必要です。ドロップダウンコンボボックスから選択されるプリンター選択変数と印刷時のラベルコピー枚数としてテキストボックスで定義されるラベル枚数変数です。



フォーム変数を作成するには:

1. フォームプロパティグリッドの変数欄の下矢印をクリックします。ダイアログボックスが表示されます。
2. フォーム変数下の追加ボタンをクリックします。
3. 名前に **Label Selection** と入力します。
4. 2、3を繰り返して **Printer Selection** と **Label Quantity** 変数を作成します。

これらの変数はリストボックス、テキストボックス、コンボボックスを定義する際に必要となります。前述したとおり、固定の添付されているラベルがありませんが、ラベルが添付される必要があります。そうするために

1. フォームプロパティグリッドの添付ラベル欄の下矢印をクリックします。

ダイアログボックスが表示されます。

2. 特定のラベルを添付する必要はないので**変数**を選択します。

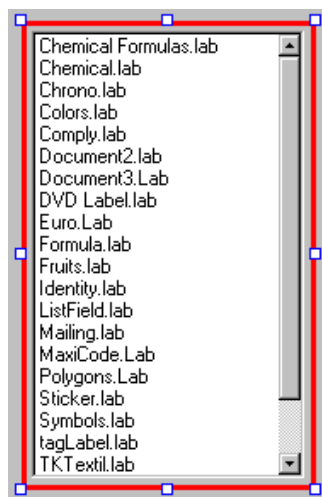
先ほど設定したフォーム変数のリストを表示するダイアログボックスに変わります。

3. **Label Selection** 変数を選択し、**OK** ボタンをクリックします。

リストボックスのプロパティ設定

リストボックスは印刷可能なすべての.lab ラベルを表示するために使用されます。

1. プロパティグリッドで、**内容 > タイプ**をクリックし、**変数オブジェクト**として定義します。
2. **内容 > 値**をクリックし、**Label Selection** として定義します。
3. **データ > タイプ**をクリックし、**ディレクトリ**を選択します。リストボックスの情報は特定のディレクトリから取得されます。
4. **データ > 値 > Folder** の下矢印をクリックします。ダイアログボックスが表示されます。
5. **固定**を選択し、ソフトウェアディレクトリで**ラベルフォルダー**を探します。
6. **OK** ボタンをクリックします。
7. **データ > 値 > フィルタ**でラベルフォルダーに存在するすべてのラベルを選択するために*.lab と入力します。

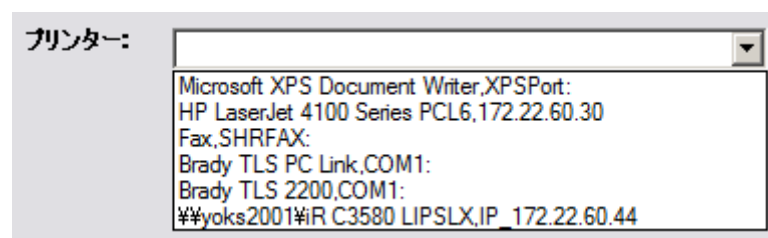


コンボボックスのプロパティ設定

コンボボックスは事前に定義されたリストからプリンターを選択するために使用されます。

1. **内容** > **タイプ**をクリックし、**変数オブジェクト**として定義します。
2. **内容** > **値**をクリックし **Printer Selection** として定義します。
3. **データ** > **タイプ** をクリックし**プリンター**を選択します。
4. **データ** > **値** > **プリンターの種類**をクリックし、**Windows** を選択します。

これはワークステーションあるいはネットワークの上に配置された Windows プリンターのリストを表示します。



テキストボックスのプロパティ設定

このテキストボックスは、何枚のラベルコピーを印刷するかをプリンターに通知するために使用されます。ユーザーによってテキストボックスに入力された数値はコピー枚数を意味します。もしカウンターがラベルの上に存在するならば、カウンターはそれぞれのラベルコピーで増加します。

1. **内容** > **タイプ**をクリックし、**変数オブジェクト** として設定します。
2. **内容** > **値** をクリックし、**Label Quantity** を選択します。

データグリッドのプロパティ設定

データグリッドはその変数名とともに選択されたラベルからデータを表示します。

1. **内容** > **タイプ**をクリックし、**固定オブジェクト**として設定します。
2. **データ**をクリックし、**Table**として設定します。
3. **データ** > **タイプ** をクリックし、**ラベル変数**として設定します。
4. **データ** > **テーブル** > **タイトル**をクリックし、**データを入力してください**と入力します。

| データを入力してください | |
|--------------|----------------|
| Variable | Value |
| ▶ FirstName | Doris |
| City | Aurora |
| Zip | 89022 |
| Name | Samuelson |
| Code | 1909 |
| Address | Bull Run Ranch |
| State | CO |

これらのすべてのステップを実行した後、**表示** > **実行**、または **F4** キーを押下してフォームを実行し、すべてが適切に動作しているかをご確認ください。